



高輪だより

令和7年度11月号
港区立高輪幼稚園
園長 佐々木勝世

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん



運動会を振り返って

園長 佐々木 勝世

先日の運動会では、子どもたちが日常の園生活の中で楽しんでいること、頑張っていることを保護者や地域の皆様に見ていただきました。

3歳児にとっては、初めての運動会でした。きっとドキドキする気持ちもあったと思いますが、かけっこでは元気よく返事をして楽しそうに走る姿が見られました。ゴールでおうちの方に迎えてもらったときのとびっきりの笑顔も素敵でした。

4歳児は、学級のブームになっていた「おぼけ」のイメージで表現とダンスを披露しました。遊びから生まれた活動なので、みんなが同じ表現をするわけではなく、身に着けたお面も含めて一人ひとりの個性が光る楽しい表現となりました。

5歳児は、幼稚園の最高学年として、自分たちの演技や競技だけでなく、係の仕事でも大活躍しました。パラバルーンの演技は、学級全員の気持ちが一つにならないと成功しない技がいくつかありました。最後の「打ち上げ花火」も見事に成功！子どもたちの表情も誇らしげでした。

このような姿は、運動会という公開行事のために「訓練」した結果ではなく、**本当に子どもたちがやりたいくて取り組んでいたからこそ見られた姿**です。園庭で遊ぶ5歳児が、CDデッキを操作してダンスやパラバルーンの曲をかけると、自然と友達が集まってきて、最初は見ていた3、4歳児も仲間に加わりました。かけっこやリレーも、数人で始めると次々に仲間が増えて、繰り返し楽しむ姿がありました。運動会後も、異学年の子どもが混じってリレーをしたり、互いが運動会で踊ったダンスを一緒に踊ったりしています。このような**主体的な遊び**を通して、運動的な経験や体力の向上はもちろん、ルールに沿って自分の力を発揮する楽しさ、友達と一緒に動いたり力を合わせたりする喜び、上の学年へのあこがれや下の学年へのやさしい関わりなど、子どもたちは実に様々なことを学んでいます。

今後も、子どもたちが自ら遊び、様々な経験を積み重ねていくことができるよう、教育環境や活動の充実に努めてまいります。



3歳児は、園庭でも元気よく返事をしてから走っています。



4歳児は、未就園児のためにおみやげを作り、ゴールで渡す役割を果たしました。



ミニパラバルーンに興味をもって集まった3、4歳児に、5歳児が教えてあげました。



幼稚園の50歳を祝うケーキができました。

高輪幼稚園では、子どもたちの生活の様子や、その中にある「学び」について、積極的に発信しています！

【ホームページ】 <https://takanawa-kg.minato-kyo.ed.jp>

【X（エックス）】 <https://x.com/takanawakg>



ホームページ



X エックス